

ナンバリング	科目名	サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
112AN04	統計学 A	統計学の考え方から記述統計まで	大野 俊尚	1 年次前期	2
科目区分	基礎	キーワード	データ 記述統計 グラフ作成 Excel		
ディプロマポリシーとの対応	1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応	1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前に受講するとよい科目	特になし				
オフィスアワー	授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。				
教員への連絡方法	教員の短大メールアドレス				
講義の目的	統計学はデータを情報として理解するための学問であり、実社会においても広く活用されています。本講義の目的は、社会に満ちている膨大なデータを理解するために、統計学の基礎を理解することです。				
到達目標	本講義の到達目標は次の3つとします。①統計学の基本的な考えを理解できる。②データを整理し、適切に要約することができる。③データの特徴、傾向を考察でき、他者に伝えることができる。				
講義内容	現代社会に溢れるデータを適切に読み取り、理解し、伝えられるようになることを目標に、統計学の考え方を学びます。また、Excel を用いたデータ整理、要約、グラフ作成、推測統計のスキルを学びます。本講義では事後学習をしっかりと行っていただくことを推奨します。なお、講義内容は進捗状況等によって変更する場合があります。				
講義スケジュール		タイトル	内容		
	第1講	オリエンテーション	本授業の説明 資料の紹介		
	第2講	イントロダクション	データとは？ Excel での計算		
	第3講	記述統計(1)	代表値		
	第4講	記述統計(2)	ばらつき・標準偏差		
	第5講	記述統計(3)	グラフ作成①		
	第6講	記述統計(4)	グラフ作成②		
	第7講	記述統計(5)	ヒストグラム		
	第8講	記述統計(6)	データの分布・正規分布		
	第9講	記述統計(7)	標準化・偏差値		
	第10講	記述統計(8)	相関		
	第11講	推測統計(1)	推測統計の考え方・確率論		
	第12講	推測統計(2)	標本抽出		
	第13講	統計による嘘	「統計」に気をつける		
	第14講	まとめ(1)	学習内容の確認		
第15講	まとめ(2)	学習内容の確認			
指導方法	講義資料を用いて講義を行います。講義内で重要だと思える点は適宜ノートやメモを取ることをおすすめします。また、適宜 Excel による作業を行います。				
事前学習	講義の最後に次回講義のキーワードを提示します。事前にそのキーワードについて調べてください。自分だけではわからない点を見つけておけると良いです。学習時間の目安は1時間30分程度です。				
事後学習	配布する資料を参照して、講義のポイントを復習してください。また、Excel 操作の復習も推奨します。学習時間の目安は1時間30分程度です。				
成績評価方法	本試験(筆記試験)50%、平常点(授業内課題の提出状況等)50%で総合的に評価します。				
課題(試験・レポート)に対するフィードバックの方法	授業中及び Google Classroom で行います。				
テキスト	特になし				
参考文献	佐々木 弾 監修『統計学のしくみ:イラスト&図解』西東社,2021				
実務家教員による授業	教員	経歴			
特記事項	後期の「統計学 B」と連携しているため、続けて履修することを推奨します。				